

原子炉利用研究者グループ総会 議事録

日時 令和 3 年 2 月 18 日 (木) 12:10-12:40

場所 Zoom による Web ミーティング

(京都大学複合原子力科学研究所「将来計画短期研究会」の昼食休憩時間に開催)

参加者 41 名 (所外 28 名、所内 13 名)

(注: Zoom 使用のため出席確認が取れず、若干の確認漏れが生じた可能性あり)

配付資料

資料 1 前回幹事会議事録 (R3.1.18 開催)

資料 2 共同利用・共同研究拠点の認定のための要望書

資料 3 原子炉利用研究者グループ規約

議事

1. 代表幹事挨拶

瓜谷代表幹事より、研究所を取り巻く問題として、規制、CA 低濃縮化、福井の新炉の事などがあるが、共同利用をつつがなく実施できるようやっていきたい旨の御挨拶があった。

2. 令和2年度事業報告・会計報告および令和3年度予算について

それぞれについて説明の後、承認された。

3. 新幹事紹介：新幹事の役割分担確認

新幹事が紹介された後、確認された。

4. 令和3年度 (2021年度) 活動について

特に追加説明はなかったが、例年通りに実施する。

5. アンケート実施について (コロナ禍での共同利用に関する要望等)

幹事会での提案に従い共同利用に関するアンケート実施に関する議論を行った。方法としてはGoogle formなどを使い、アンケート内容については原案を作り1週間程度の検討期間を置いた後、実施するという方針で承認された。

6. 名誉会員の推薦について

今回の推薦者はなく、会員から推薦する人がいれば事務局まで教えて欲しい旨の連絡があった。

7. その他

川口事務局サポート担当から、会員の連絡先メーリングリストの更新について問題提起があった。現状では送り先が増えるばかりで、送る必要のない人を削除する必要があり、会員リストの整理が必要であるという説明があった。それに関して以下のような意見があった。

- ・メーリングリストはアトムサイエンス熊取 (ASK) 誌の送り先リストとリンクしている。これは2年前までの共同利用者リストとなっており、このような方法で整理している。
- ・幹事の選挙が2年に1回なので、送り先を最新のものにするかどうかの問題があり、毎年年度末に確認してもらった方が良いのではないか。
- ・アンケートは必要に応じて行うが、今年はコロナウィルスの問題がありアンケートを取るようになった。
- ・毎年年度末にアンケートを取って、会員の継続を確認し、名誉会員の推薦もしてもらってはどうか。
- ・毎年総会の前にアンケートを取ることにしてはどうか。
- ・アンケートで新研究棟の共同利用者のためのスペースの利用形態に関する要望を聞いてはどうか。

以上のような議論を経て、鈴木幹事より3月中にアンケートを出し、メーリングリストの更新、名誉会員、共同利用者のためのスペースの利用についても反映し、来年は相談させてもらう旨の意見があった。

以上

作成：木野村